

適用規格						
定 格	使用温度範囲 ⁽²⁾		-40℃ ～ +105℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧		AC, DC 1000V	_____	_____	
	電 流 ⁽¹⁾		13A(周囲温度25℃)	適合ケーブル	—	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタに DC 1A で測定する。		5mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。		5000MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 2200Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	インパルス耐電圧	嵌合状態にてコネクタ間に15 kVの標準波形(電圧波形1.2/50 μs、極性 正・負印加回数各3回)を印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	— の鋼製ピンで測定する。		挿抜力 — 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。		挿抜力 100 N以下	○	—
	端子固定力	結線側より、20 N の引き抜き力を加える。		端子の移動が無いこと。	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。		単位コネクタの接触抵抗: 10mΩ 以下	○	—
	耐振性	周波数 10～55～10Hz/サイクル、片振幅0.75mm、5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² 、持続時間11ms、正弦半波3方向各3回試験する。		①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40℃ → 常温 → +105℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。		①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度40℃、湿度90～95 %中に96時間放置する。		①絶縁抵抗: 50MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で 濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。		機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +105℃中に 96 時間放置する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -40℃中に 96 時間放置する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深2mに 14日間放置する。		コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に7- 圧17.6kPaを30秒間加える。		コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△		DIS-A-00065601				
備考 注(1) 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示す。 適合端子: HR41A-PC-111 (2) 使用温度範囲は、通電時による温度上昇も含みます。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。 注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				承認	TP. KOMATSU	20220301
				検 図	EJ. KUNII	20220301
				担 当	SH. KOYAMA	20220228
				製 図	SH. KOYAMA	20220228
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番	SLC-118468-81-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR41A-17WBRB-5PC(81)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0141-0222-6-81		
					△	1/1